

令和4年度伝統産業技術後継者育成研修
「漆工応用コース」研修生募集要項

(地独)京都市産業技術研究所では、京都の漆工産業界の将来を担う人材の育成を目的として、漆工に関する専門的な基礎知識と技術を修得する研修を実施するため、下記のとおり令和4年度研修生を募集します。※当研修は令和4年度の予算の成立が前提となります。

記

- 1 研修期間 令和4年4月～令和5年3月（休講期間：夏期約10日，冬期約10日）
週3日（月，水，金曜日 午前9時～午後4時）
※ 休日を除く。一部時間外実習あり
- 2 研修内容 京都の漆工業界で現在活躍する講師陣や当研究所職員により、漆工の基礎的技法の他、金蒔絵・青貝・螺鈿などの加飾技法，新製品開発手法など，基礎から作品制作まで充実した内容の研修を行います。

【主要科目】

講 義	実 習
漆工技術概論 漆工工学 デザイン概論 など	蒔絵技法 青貝・螺鈿技法 製図・3Dプリンタ造形 など

- 3 研修場所 京都市下京区中堂寺粟田町9-1 京都リサーチパーク9号館南棟
(地独)京都市産業技術研究所（一部外部での実習あり）
- 4 受講料 260,000円（令和3年度受講料実績につき，変更の可能性もあります）
(別途，道具類・傷害保険料・産地研修費（5万円程度）等実費負担あり）
- 5 募集人員 約6名（定員に満たない場合は開催されない場合がございます）
- 6 資格要件 次のいずれかの要件を満たされている方
 - (1) 京都市の区域内において，漆工業を営む中小企業の事業主又はその従業員であり，京漆器に関する技術的業務について1年以上の経験を有し，かつ，高校卒業又はこれと同等以上の学力があると認められる方
 - (2) 理事長が特に適当と認める方
- 7 申込書の配布 (地独)京都市産業技術研究所で配布します。
※ 当研究所ホームページ (<http://tc-kyoto.or.jp/>) からダウンロードできます。
※ 郵送希望の方は，表側に「漆工応用コース申込書希望」と朱書きし，84円切手（定形の場合）を貼付した返信用封筒を同封のうえ，当研究所まで送付してください。

8 選考試験日程

■第1回募集

申込期間：令和3年10月25日（月）～令和3年11月18日（木）

選考試験：令和3年11月30日（火）午前9時～午後4時

合否郵送：令和3年12月 6日（月）付け

■第2回募集

申込期間：令和3年12月20日（月）～令和4年 2月 3日（木）

選考試験：令和4年 2月15日（火）午前9時から午後4時頃まで

合否郵送：令和4年 2月22日（火）付け

9 出願手続 所定の参加申込書に必要事項を記入のうえ、次の書類を添えて提出してください。

- (1) 履歴書（写真貼付のこと。）
- (2) 人材育成事業参加申込書
- (3) 健康状態に関する調査票

10 出願先

〒600-8815

京都市下京区中堂寺栗田町9-1 京都リサーチパーク9号館南棟

（地独）京都市産業技術研究所 工芸・漆チーム 橘 宛

11 選考試験

(1) 試験会場 （地独）京都市産業技術研究所 所内

(2) 試験科目

(ア) 小論文（800字程度）

(イ) 面接（面接では自作の小作品を持参のこと）

(3) 受験票 出願期間終了後、申込者の住所に封書で送付します。

なお、選考日3日前までに受験票が届かない場合は、お問い合わせください。

12 受講許可 合否については、受験者に封書で通知します。電話等による問い合わせには応じません。なお、合否郵送日から一週間を経過しても合否の通知が届かない場合は、お問い合わせください。

13 問合せ先 工芸・漆チーム 橘（電話番号 075-326-6100）

随時、見学・ご相談を承っております。お気軽にご連絡ください。

研修の概要

漆工コースは、京漆器製造の後継者育成を目的として昭和50年度より開講されました。

本コースは、漆工の基礎的技法の他、図案作成の基礎、乾漆技法による自由造形、新製品開発手法など、基礎から作品制作まで充実した研修内容となっています。講師は、漆芸作家、京漆器業界の現役技術者、大学教員および当研究所職員です。少人数で各人の技量に応じた個別の指導を行います。本コース修了生の多くは漆器関連業界に携わる技術者として、また漆芸作家としても活躍しています。

研修科目と内容

	科目	時間数	研修内容
実 習	蒔絵技法	345	a) 棗 1個
			b) 夫婦椀 1組
			c) 箱（小重箱，小箱など）1個
			d) 進物盆 1個
			e) 小物 1個
			f) 自由課題
	各自作成した図案をもとに金蒔絵を中心にした加飾法を学ぶ		
青貝・螺鈿実習	33	薄貝，厚貝を用いた小作品の制作と実習	
写生	15	静物・自然物をモチーフに写生の基礎を学ぶ	
製品開発	24	素地（立体）制作のための製図法，コンピュータによる立体出力までの基礎を学ぶ	
漆工工学実験	15	漆工に関する科学的知識と実験手法の基礎を学ぶ	
学外特別実習	6	茶道実習（1回），漆掻き実習（1回）	
実習	246	各人の計画を基に制作と作業を行う	
講 義	漆工・漆工工学・デザインに関する講義	9	漆工技術概論（2回）
			特別講義（1回）